

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024年1月18日
事業所名: 夢門塾川崎京町	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4	4	1	小中学生が一緒に時は狭いと感じる時もあるが、工夫して使用している。
	② 職員の配置は適切である	5	3	0	適切である。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	4	5	0	小回り・トイレなど菌が繁殖しないよう、定期的に消毒をするよう気を付けています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	1	申し送りノートの活用を行っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4	2	0	職員ミーティングを実施し、共有し改善策を検討している。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	5	1	0	ホームページにて公開している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	8	0	0	月に一度、職員ミーティングを行っている。
	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	3	0	月に一度、個別支援ミーティングを行っている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	8	0	0	各自意見を出し合って検討している。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	1	0	インターネットなどで調べて新しいことに挑戦できる様計画を立てている。
適切な支援の提供	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	2	0	休日や長期休暇の活動がマンネリ化しないよう工夫している。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	2	1	殆どが集団なので、必要に応じて個別の活動も行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	毎朝、全職員で朝礼の際に共有を行っている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	0	職員同士で確認しながら提供記録を書いている。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	2	0	半年ごとにモニタリングを行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	4	0	夢門塾の掲げている3本柱を組み込んで支援をしている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	5	2	0	情報共有を努めているが、行き違いがあることもあるので、これからもしっかりと情報共有を行う。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	1	5	0	相談支援事業所を通し、情報共有に努めている。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	1	4	1	該当する児童がいない。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	0	南部療育センターに定期的に訪問をしている。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	8	0	0	コドモンや送迎時に情報共有を行っている。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1	0	契約時に書面などを活用して説明を行っている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	7	1	0	保護者様のお気持ちに寄り添いながら助言を行っている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	0	6	コロナ過のため行えていない。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	0	全職員で共有し再発防止を行っている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	8	0	0	月に一度夢通信を配布している。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	9	0	0	個人情報の同意書などにて意向を確認している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	言葉だけではなく表情などをよく観察しながら伝達を行っている。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	6	2	1	日にちと時間の調整が上手くいかず参加できない事が多い。夏祭りに参加。
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	1	0	各事態に合わせた対策マニュアルを策定し周知している。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	8	1	0	行なってはいるが車いすの児童への対応や不審者対策等がまだ不十分なので訓練を行う。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	0	職員ミーティング時などに情報交換を行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4	2	0	契約時に書面にてご説明を行っている。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	1	0	基本的に投薬は行っていない。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	9	0	0	会社共通の様式を使用している。
	保護者様評価、自己評価についてまとめ				
	全児童にとって夢門塾が安心できる場所・保護者様にとって安心してお子さまを預けられる場所であり続ける為に全職員常に情報共有などを行います。また全児童が毎日楽しく通えるよう活動が固定化しないよう工夫に努めます。				